

補助事業番号 19-15
補助事業名 平成19年度鉄道車両の海外広報等補助事業
補助事業者 日本鉄道車両輸出組合

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

わが国鉄道車両の性能・新技術等最新技術情報を海外に紹介し、わが国鉄道車両工業の健全な発展を図り、もって機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

高速鉄道システムの教育、啓発シンポジウム開催

ア. 期日・場所

1月30日 米国カリフォルニア州アナハイム市「Disneyland Hotel」において「The Shinkansen シンポジウム」を開催した。

また、2月1日に同サンフランシスコ市「JW Marriott San Francisco Hotel」において同形式の「The Shinkansen シンポジウム」を開催した。

基調講演を含め日本側5名の講師が講演し安全、高効率鉄道としての新幹線システムの優秀性および都市間交通機関としての鉄道の優位性を力説した。

イ. 主催: 日本鉄道車両輸出組合

協賛: 米国加州高速鉄道局(CHSRA)(加州側機関)

成果

高速鉄道システムの教育、啓発シンポジウム開催

現在、ロスアンゼルス近郊のアナハイム市長が CHSRA ボードメンバーで高速鉄道プロジェクト推進派であることから、セミナー初日はアナハイムでの開催とした。市長の出席が予定されていたが、当日、市長は知事に呼ばれ欠席となってしまった。ところが、市長の代理のスピーチによると知事との話は高速鉄道プロジェクトに関するということで、何らかの進展(*)が期待された。

出席者はおおよそ40名程度で多数とはいえないが、地域の地方自治体の連合組織のメンバーなど公的機関の参加が多く、質問も高速鉄道プロジェクトを真剣に考えている的確なものが多かった。

*その後の情報によると、シュワルツネッガー州知事が11月に予定されている州債発行(高速鉄道プロジェクト予算を含む)の住民投票の賛成に回り、高速鉄道プロジェクト指示を表明したという話であった。2回目のサンフランシスコでは、州都が近いと言うこともあり、元上院議員、カリフォルニア州民主党幹部などの政治家や州政府の運輸副長官などの本プロジェクトへの影響力がある出席者が多く、出席人数も60人近くあった。プレゼンテーションに関する質問は、高速鉄道ができることにより航空会社

への影響、ヨーロッパと比べた日本の補助金、リースの仕組みなど多岐にわたる真摯な質疑が行われた。

以上、今回のシンポジウムも成功裏に終了し、セミナー後のレセプションでも活発な議論が続き、アメリカ側参加者に高速鉄道の重要性と新幹線の優位性を周知することができた。

2. 予想される事業実施効果

わが国の鉄道は世界的に最高水準の技術を有しており、特に動力分散方式の高速鉄道「新幹線」において技術的優位性を誇っている。しかし鉄道事業者およびシステム採用決定権者の多くは政府機関であり、彼らに対し国家的戦略産業として陰に陽に政府の影響力を利用する欧州の鉄道産業に伍して輸出促進活動を行なうのには、日本の民間企業単独では大きなハンディを負っているといわざるを得ない。

今回、米国カリフォルニア州の政府交通政策担当者、交通事業者、各地方自治体の公共輸送担当者に対して、日本高速鉄道システムの特徴、優位性、技術的先進性を周知する機会を得たことで、日本の高速鉄道システムの特徴と利点の理解を促進することができ、日本のシステムの採用に向けて大いに貢献できた。

以上のことにより、日本の高速鉄道システムの海外での採用される可能性が非常に高まり、今後の日本の鉄道業界にとり産業活性への大きな期待を持つことができた。

3. 本事業に作成した印刷物

THE SHINKANSEN

日本の高速鉄道の特徴、利点、安全性等について解説した新幹線システムの総合教育冊子 A4版 68ページ 英語

4. 事業内容についてのお問い合わせ

団 体： 日本鉄道車両輸出組合

住 所： 100-0005 東京都千代田区丸の内 1-8-1 鉄鋼ビル

代 表 者： 理事長 田崎雅元

担当部署： 業務部

担 当 者： 業務部長 倉澤泰樹

電話番号： 03-3201-3143

FAX 番号： 03-3214-4717

E-mail: infoweb@jorsa.or.jp

U R L: <http://www.jorsa.or.jp>